

平成七年度 駒沢短期大学仏教科彙報

*今回は原則として平成七年度前期を主とする

敦煌文献発見の意義に重点を置いて講義。
インド仏教史〔仏教教理史〕 木村 誠司

*Tatvasamgraha*をテキストにし、インド思想との関わりから仏教について講義。

坐禅Ⅱ〔禅学実習Ⅱ〕 角田 泰隆

奥野 光賢

授業の前半は只管打坐。後半は『正法眼蔵』の拝読。前期は、『辨道話』、『現成公案』、『摩訶般若波羅蜜』、『佛性』を拝読。適宜、道元禅師の教説の重要部分を解説。

禅籍講読Ⅰ〔宗典講読Ⅰ〕 石井 公成

禅文献特有の語法に注意しつつ『楞伽師資記』を講読。

禅籍講読Ⅱ〔宗典講読Ⅱ〕 奥野 光賢

『宝慶記』の講読。

禅学演習〔禅学演習Ⅰ〕 伊藤 秀憲

仏教研究Ⅰ〔仏典演習Ⅰ〕 木村 誠司

『天台小止観』を通読中。

仏教研究Ⅱ〔仏典演習Ⅱ〕 石井 公成

『般若心経』、『大品般若経』、『大智度論』を講読。授業に当たっては、仏教漢文の力をつけるため、般若系経典の書き下し文

を漢文に復元する作業を毎回、学生全員に課している。

仏典講読Ⅰ〔仏典演習Ⅲ〕 袴谷 憲昭

◇平成七年度 短大仏教科開講科目

〔 〕内は平成四年度以前入学生適用科目名
基礎仏教学 袴谷 憲昭

仏教とは何であるかを知るための基礎としての仏教聖典についてパーリ三蔵、漢訳大蔵経、チベット大蔵経を中心に説明。
仏教成立以前のインド思想の特質と仏教の概略について講義。

宗教学 袴谷 憲昭

Paul Griffiths and Delmas Lewis "On Grading Religions, Seeking Truth and Being Nice to People—A Reply Professor Hick"を読みながら、宗教多元主義の問題点を考察。

仏教概論 池田練太郎

禅学概論 青龍 宗二
仏教語解説 木村 誠司

『俱舍論』の用語についてプリントを配布し説明。

坐禅Ⅰ〔禅学実習Ⅰ〕 角田 泰隆

奥野 光賢

授業の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する両祖の撰述の提唱。前期は『正法眼蔵』、『坐禅儀』を提唱。

宗典講読Ⅰ 角田 泰隆

道元禅師の著『正法眼蔵』の講読。特に「心」を主題にして拈提した巻々を取り上げ、「心」とは何かに迫る。前期は『正法眼蔵』の研究史を概説し、「即心是佛」

巻を講読。

宗典講読Ⅱ 角田 泰隆

瑩山禅師の伝記の講義および『伝光録』の講読。

中国禅宗史〔禅宗史〕 石井 公成
中国成立の観経・禅経類の特質、および

『解深密経』「一切法相品」読了。拙著『唯識の解釈学』により、『解深密経』の仏教思想史上における意義についても講義。

仏典講読II〔仏典演習IV〕 大西 龍峯

禅学研究I〔禅学講義I〕 奥野 光賢

『宋高僧伝』『慧能伝』および『六祖壇経』の講読と近年の禅思想に対する批判的研究の紹介。

禅学研究II〔禅学講義II〕 角田 泰隆

曹洞宗の歴史的展開、特に江戸期の宗統復古運動と古規復古運動について概説。

中国古典語〔漢文講読I〕 功刀 正

仏教伝道概説〔教化法〕 皆川 廣義

書道 野村 宙弘

禅と文化 永井 政之

仏教と文化 奥野 光賢

「法華七喻」の原文講読と解説。

外国語仏書演習〔外書講読I〕 木村 誠司

*An Introduction to Buddhism*の講読。

仏教演習 太田 久紀

日本禅宗史 角田 泰隆

前期は、禅の流れおよび禅思想の特徴を概説。後期はこれを踏まえて日本の禅宗の歴史と思想をたずねる。

中国仏教史 石井 公成

中国における外国人二世・三世の仏教徒たちの活動と、道安・慧遠・道生などの漢人僧の教理に重点を置いて講義。

日本仏教史 袴谷 憲昭

*Intellectual History of Buddhism in Japan*という観点から日本仏教史の問題点を指摘しつつ、平安期直前の仏教までを講ず。

仏教と現代 峰岸 孝哉

◆他学部他学科出講科目

〔仏教学部〕

外国語仏書講読 石井 公成

原始仏教経典、宗教に関する論文、「般若心経」の四種の英訳など、様々な英語文献を講読。

仏典研究 木村 誠司

仏教論理学について特に *Tattvasam-graha*を中心として講義。

チベット語上級 木村 誠司

チベット語に慣れるため様々なチベット語文献に触れた。

〔短期大学〕

宗教学I〔英文科前半〕 袴谷 憲昭

*The Necessity of Interreligious Apologetics*の観点から宗教間の論議の必要性を説くGriffiths教授の著書より“*Apologetics in Action: Buddhists and Christians on Selves*”を講読。

宗教学II〔英文科前半〕 袴谷 憲昭

*Meister Eckhart, Sermons and Treatises, Vol. II*より「マタイ伝」第五章第三節に関する説教を選んで講読。禅と仏教の特質について講義す。

宗教学I〔放射線科〕 石井 公成

古代の呪術的信仰が現代人のうちにも生きていくことに注意しつつ、世界の宗教と仏教について概説。

〔第一部〕

宗教学I〔経済学部商学科〕 袴谷 憲昭

仏教とはいかなる特質の宗教かを講義。その上で、後期にデカルトの『方法序説』を講読する準備として、「マタイ伝」第五章第三節に関するエックハルトの説教を英文で講読。

宗教学II〔文学部地理学科〕 角田 泰隆

まず、宗教（特に仏教）とは何かについて、その基本的な立場を概説。後、禅を中心に、禅が仏教史の中でどのように誕

生し、展開し、何を説いたのかを講義。

〔第二部〕

宗教学Ⅰ（経営学部経営学科）石井 公成
古代の呪術的信仰が現代人のうちにも生きていくことに注意しつつ、世界の宗教と仏教について概説。

宗教学Ⅰ（経済学部経済学科）木村 誠司
仏典や参考文献のコピーを配布し講義。

宗教学Ⅰ（経営学部経営学科）奥野 光賢
松本史朗著『仏教への道』を教科書として、仏教の基本的教義の概説。

宗教学Ⅱ（経営学部経営学科）奥野 光賢
仏教学部研究室編『宗教学Ⅱ』を教科書として、禅の思想的源流から曹洞宗の教義確立に至るまでの思想的・歴史的展開過程を概説。

◇教員研究活動

袴谷 憲昭

〔論文〕

「批判仏教と本覚思想」（『日本の仏教』第一号、一九九四・一〇）

「選別学派と典拠学派の無表論争」（『駒沢短期大学研究紀要』第二三号、一九九

五・三）

「悪業払拭の儀式関連經典雜考（Ⅴ）」
（『駒沢短期大学研究紀要』第二三号、一九九五・三）

〔講演〕

「仏教の正統と異端」（一九九五年六月十五日開催の、駒沢大学の「祝禱音楽法要と文化講演の日」における講演）

石井 公成

〔論文〕

「仏教東漸史観の再検討―渡来人とその系統の人々のアイデンティティ―」（『日本の仏教』第二号、一九九五・三）

「『大集経』尊重派の地論師」（『駒沢短期大学研究紀要』第二三号、一九九五・三）

「誓願の威力か亀の恩返しか―『日本霊異記』上巻第七縁の再検討―」（『駒沢大学仏教学部研究紀要』第五三号、一九九五・三）

「初期中国仏教における現世的誓願信仰の流行と衰退」（『日本仏教学会年報』第六〇号、一九九五・五）

〔発表〕

「現世的誓願信仰の流行と衰退」（平成六

年度日本仏教学会学術大会、一九九四年十月八日、於仏教大学）

「『事事無礙』を説いたのは誰か」（日本印度学仏教学会第四五回学術大会、一九九五年六月十日、於花園大学）

〔学位〕

一九九四年六月十四日、「華嚴教学史の研究」により早稲田大学より博士（文学）の学位を授与される。

奥野 光賢

〔論文〕

「吉蔵と宝地房証真」（『印度学仏教学研究』第四三卷第一号、一九九四・一一）

木村 誠司

〔論文〕

「ツオンカパのカマラシーラ観」（『駒沢短期大学研究紀要』第二三号、一九九五・三）

角田 泰隆

〔著書〕

編著『道元思想大系』十一卷「十二巻本正法眼蔵と道元禅」（同朋舎、一九九五・

◇諸係担当

共同研究分担、鏡島元隆監修『道元引用語録の研究』(春秋社、一九九五・三)

〔論文〕

「道元禅師撰『坐禅箴』について」(『宗学研究』第三七号、一九九五・三)

「道元禅師の身心脱落について」(『駒沢短期大学研究紀要』第三三号、一九九五・三)

〔発表〕

「道元禅師撰『坐禅箴』について」(第四〇回宗学大会、一九九四年十一月三〇日、於駒沢大学)

〔出張〕

第四五回日本印度学仏教学会学術大会(一九九五年六月十日～十一日、於花園大学)

〔雑文〕

『曹洞禅グラフ』「徹通義介さま」連載執筆中

『大法輪』「特集・日本仏教十三宗、ここが違う……曹洞宗」(平成六年十一月号)

『大法輪』「特集・さとりと何か……道元のさとり」(平成七年四月号)

○学内諸係

全学教授会委員

(五月十八日解任)

袴谷 憲昭

自己点検・評価実施委員

石井 公成

体育審議会委員

奥野 光賢

図書館委員

木村 誠司

図書館選定委員

木村 誠司

紀要編集委員

木村 誠司

学生相談室アドバイザー

角田 泰隆

仏教行事運営委員

奥野 光賢

○学内諸係

自己点検・評価委員

石井 公成

論集編集委員

木村 誠司

会計・庶務

奥野 光賢

◇平成七年度短大仏教科在学生

(平成七年六月一日現在)

仏教科一年

百瀬 素浩

磯田 辰哉

中村 昭法

清野 良和

西川 英範

杉野 宗博

齋藤 雅紀

三野 修史

山澤 顕雄

大久保義道

新國 秀一

金子 朝尚

小柳 善徳

佐藤 大志

中山洋治朗

池田 和貴

澤村 龍介

飯田 文昭

古川 道博

蟻田 大友

成田 隆如

島袋 真実

田村 光章

仙石 哲亮

中村 博光

番澤 廣円

鈴木 義教

服部 聡和

富田 泰俊

星野 義典

後反 嘉久

関戸 行徳

朝倉 勇人

鈴木 直人

大場 章弘

伊藤 雄大

丹羽 清光

富田 淳

小柳 俊英

古川 義典

藏座 寛英

米田 大器

山本 正尊

山本 晋哉

上原 昌彦

田近 智克

山口 和文

徳野ゆう子

岡本 至正

明峰 昌彦

下川原潤也

谷津 俊法

大澤 信也

村上 隆之

酒井 泰寛

高野 将人

仏教科二年

清野 泰二	福田 道雄	荒木 秀孝	若月 和道
熊木 謙一	福田 広一	岡田 俊宏	水庭 浩章
鈴木 圭	水野 正晃	前田 智章	渡辺 俊晴
阿部 弘雄	北川 恵得	金子 高幸	三野 一夢
糸川 宏一	藤井 貫之	加藤 大禅	宮入 俊昭
大村 秀哉	丸山 泰操	寺田 純子	宮入 俊昭
奥山 真行	上田 宗廉	竹内 邦雄	大知 良説
諏訪 宏文	高田 清秀	蓮池 秀明	小野寺俊寛
		安倍 宗寛	山室 博康
		富田 浩二	金井 弘應
		久冢 匡貴	吉田 義弘
		温湯 康二	矢原 耕道
		五十嵐義丈	西澤 久仁
		西垣 慶峰	工藤 正徳
		深見 晃彦	武山 悟
		佐藤 崇道	吉田 順一
		三戸 和広	深澤 徳晃
		堀場 隆志	齊藤 篤仁
		中川 秀典	平岸 義雪
		間瀬 昌道	田村 文英
		久野 和教	佐藤あすか
			荒木 正裕
瀧田 健久	岡田 敬章		
中島 崇臣	鈴木 朋幸		
森住 元春	安東 正之		
坂野 道隆	三宅 俊邦		
宮下 修文	小嶋 敏之		
三家本幸男	石崎 慶太		
木原奈緒子	本庄 正堂		
谷代 剛	黒田 美穂		
赤澤 宣行	矢島 和哉		
古橋富美雄	泊 浩道		
大谷 文恭	高橋 寛		
大佛 良光	松好 大成		
山口 貴子	竹下 毅昭		
黒田 博志	玉井理江子		
中村 尚幸	松沢 宗峰		